



データベースを設定しています

SnapManager Oracle

NetApp
November 04, 2025

目次

データベースを設定しています	1
ターゲットデータベースを設定しています	1
ターゲットデータベースの Oracle データベースユーザを作成しています	1
リポジトリデータベースインスタンスを作成しています	2
リポジトリデータベースインスタンスの Oracle ユーザを作成します	2
Oracle リスナーの設定の確認	2

データベースを設定しています

SnapManager を使用してバックアップするターゲットデータベースと、ターゲットデータベースメタデータを保存するリポジトリデータベースの 2 つ、少なくとも Oracle データベースを設定する必要があります。SnapManager 処理を実行する前に、ターゲットデータベースと SnapManager リポジトリデータベースを設定してオンラインにする必要があります。

ターゲットデータベースを設定しています

ターゲットデータベースは、スタンドアロン、Real Application Clusters (RAC) 、Automatic Storage Management (ASM) 、またはサポートされるその他の任意の組み合わせとして設定できる Oracle データベースです。

1. `referring_TR-3633_` でターゲットデータベースを設定します。
 - 関連情報 *

"ネットアップテクニカルレポート 3633 : 『 Best Practices for Oracle Databases on NetApp Storage 』 "

ターゲットデータベースの **Oracle** データベースユーザを作成しています

Oracle データベースユーザは、データベースにログインして SnapManager 処理を実行するために必要です。ターゲットデータベースに `_sysdba_privilege` を持つユーザが存在しない場合は、`_sysdba_privilege` を指定してこのユーザを作成する必要があります。

SnapManager は、ターゲットデータベースに対応する `_sysdba_privilege` が設定された任意の Oracle ユーザを使用できます。たとえば、SnapManager では `default_sys_user` を使用できます。ただし、ユーザが存在する場合でも、ターゲットデータベースの新しいユーザを作成して、`_sysdba_privilege` を割り当てることができます。

OS (オペレーティングシステム) では、OS 認証方式を使用することで、Oracle データベースが OS に保持されているクレデンシャルを使用して、データベースにログインして SnapManager 処理を実行するユーザを認証することもできます。OS によって認証された場合は、ユーザ名またはパスワードを指定せずに Oracle データベースに接続できます。

1. SQL * Plus にログインします。 `'sqlplus/as sysdba'`
2. 管理者パスワードを使用して新しいユーザを作成します。 `'create user user_name identified by admin_password;'`

`user_name` は作成するユーザの名前で、`admin_password` はユーザに割り当てるパスワードです。
3. `sysdba` 権限を新しい Oracle ユーザに割り当てます： `'grant sysdba to user_name ; '`

リポジトリデータベースインスタンスを作成しています

リポジトリデータベースインスタンスは、 SnapManager リポジトリを作成する Oracle データベースです。リポジトリデータベースインスタンスはスタンドアロンのデータベースである必要があります。また、ターゲットデータベースにすることはできません。

データベースにアクセスするには、 Oracle データベースとユーザーアカウントが必要です。

1. SQL * Plus にログインします。 'sqlplus/as sysdba'
 2. SnapManager リポジトリ用の新しいテーブルスペースを作成します。 'create tablespace tablespace_name datafile /u01/app/oracle/oradata/datafile/ tablespace_name.dbf' サイズ 100M autextend on ; '
- tablespace _name は、テーブルスペースの名前です。
3. テーブルスペースのブロックサイズを確認します。 'select tablespace_name block_size from dba tablespaces ; '

SnapManager では、表領域用に 4,000 以上のブロックサイズが必要です。

- 関連情報 *

"ネットアップテクニカルレポート 3761 : 『 SnapManager for Oracle : Best Practices 』 "

リポジトリデータベースインスタンスの Oracle ユーザを作成します

Oracle ユーザは、にログインしてリポジトリデータベースインスタンスにアクセスする必要があります。このユーザは、_CONNECT_AND_RESOURCE_Privileges で作成する必要があります。

1. SQL * Plus にログインします。 'sqlplus/as sysdba'
2. 新しいユーザを作成し、そのユーザに管理者パスワードを割り当てます。 'create user user_name identified by admin_password default tablespace tablespace_name quota unlimited on tablespace_name;'
 - user_name は、リポジトリ・データベース用に作成するユーザの名前です。
 - ADMIN_NETWORK_PASSWORD はユーザに割り当てるパスワードです。
 - tablespace_name は、リポジトリデータベース用に作成した表領域の名前です。
3. 新しい Oracle ユーザーに_connect_or_resource_privileges を割り当てます： 'grant connect、resource to user_name ; '

Oracle リスナーの設定の確認

リスナーは、クライアントの接続要求をリスンするプロセスです。受信したクライアント接続要求を受信し、これらの要求のトラフィックをデータベースに管理します。ターゲットデータベースまたはリポジトリデータベースのインスタンスに接続する前に、

status コマンドを使用してリスナーの設定を確認できます。

status コマンドを実行すると、リスナーの設定、リスニングプロトコルアドレス、およびリスナーに登録されているサービスの概要など、特定のリスナーに関する基本的なステータス情報が表示されます。

1. コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。 'lsnrctl status'

リスナー・ポートに割り当てられるデフォルト値は、 1521 です。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。